

平成 31 年度事業計画書

公益財団法人徳川黎明会

## 基本方針

当財団は、平成 31 年度も引き続き、これまで蓄積してきた豊富な実績を基盤に、美術・史学の調査・研究等に一層の研鑽を重ね、その成果について、教育・普及活動等を通じて広く社会に提供・貢献する。

また、尾張徳川家伝来の美術工芸品・歴史資料、保有する貴重な国内外の美術品・資料等について、展示・研究発表等を通じて社会に公開し、文化・芸術の振興に努める。

### 1. 本部・総務部

平成 30 年度は、徳川美術館、徳川林政史研究所の事業活動を統括・支援し、推進するとともに、昨年度に引き続き、各種労働問題の解消・解決に向け、労働環境の整備・改善に積極的に努めた。

平成 31 年度は、法人の理念実現、より円滑な運営を念頭に、さらに合理的な組織・制度等の見直しを図るとともに、職員の高齢化が進む中で、業務継承や世代交代を順調に運ぶべく、人材の補充・適材適所の配置、各拠点の業務効率化をはかり、執行・管理体制のさらなる強化に努める。また、本部ならびに美術館の建物・設備等の経年劣化・老朽化への対策について、具体的検討・中長期的計画の策定に着手し・推進する。

### 2. 徳川美術館

平成 30 年度、徳川美術館の特別展については、4 月～5 月に実施した春季特別展「明治 150 年記念 華ひらく皇室文化—明治宮廷を彩る技と美—」開催中に皇太子殿下の御行啓を賜わり、また、彬子女王殿下に記念講演を賜わったことが特記される。夏期の猛暑や秋口の台風等の気象要因により、年央の数か月は、来館者の対前年比減少が見受けられたが、10 月後半以降は順調な回復傾向が認められた。各般のサービス向上努力もあいまって、当初の来館者数見込みをほぼ上回るが見込まれる。

平成 31 年度においては、5 月に予定される新陛下御即位、9 月予定の国際博物館会議京都大会 (ICOM KYOTO 2019)、11 月予定の G20 外相会議の愛知県開催等の日程も考慮しつつ、時宜性、訴求対象等を考慮した特別展・企画展や特別展示・特集展示を年間スケジュールとして作成するとともに、研究、教育・普及、連携事業、会員サービス、ショップ運営等、各般の改善・向上にさらに努め、美術館のミッションの実現に努める。

### 3. 徳川林政史研究所

平成 30 年度は、徳川林政史研究所所蔵の尾張藩関係史料の整理・研究・公開だけではなく、他機関所蔵の尾張藩関係史料の調査・研究を推進し、その成果を徳川美術館の「江戸学講座」を含む公開講座で公表した。教育・普及活動では、上廣倫理財団との共催による歴史文化フォーラムを開催し、約 1,000 人もの集客を得て大きな成功を収めることができた。林政史関連調査では、若手研究者の多くを動員して、尾張藩御山守を務めた内木家所蔵史料調査に着手した。

平成 31 年度は、引き続き当研究所所蔵史料の整理・研究・公開を着実に進めるとともに、他機関等所蔵の尾張藩関係史料等の調査・研究も一層推進させ、尾張藩研究の成果として、『源敬様御代御記録 第四』を編集・刊行する。また、内木家所蔵史料調査の成果として、尾張藩林政史および山村生活の実態をわかりやすく解説したブックレットを編集・刊行する。例年通り、徳川美術館で「古文書入門講座」「江戸学講座」を開講するなどして、同美術館との連携を強化するとともに、研究成果を広く発信するため、公開講座の一層の充実をはかる。これらの調査・研究・普及活動に、若手研究者を積極的に参加させ、将来有望な人材の育成に尽力していく。

なお、各事業拠点における実施事業詳細については、次葉以降に記載のとおりである。

#### I. 公益目的事業

[ 公益事業 1 ] 美術館の運営事業 (徳川美術館)

1. 美術品の展示・公開・修理・保存・収集

以下(1)①～⑥及び(2)①～③の各項目を実施する。

(1) 展示・公開

① 名品コレクション展 (第 1～5 展示室)

収蔵品中の名品を中心に、第 1 展示室では、甲冑・刀剣ほかの武具を展示する。また、第 2 展示室では、茶碗・茶入ほかの茶の湯関連品、第 3 展示室では香炉・掛軸ほかの書院飾り関連品、第 4 展示室では、能面・能装束ほかの能狂言関連品を各々名古屋城二之丸御殿の茶室・書院・能舞台を復元した展示室で展示する。第 5 展示室では、婚礼調度をはじめとする「奥道具」を紹介する。

これらの展示室では、年度内に 4 回 (4,7,9,1 月) 大展示替えを実施し、約 1 か月ごとに部分展示替えを実施する。また、第 1 展示室では、「名刀セレクション」、第 5 展示室では、「国宝 初音の調度」を順次数点ずつシリーズで紹介する。更に、9 月初旬に開催予定の第 25 回国際博物館会議京都大会の会期にあわせ、第 5 展示室において、8 月 20 日から 9 月 16 日の間、所蔵近世絵画の名品を中心とする「桃山の名画」特集展示を行う。新元号最初の正月となる 2020 年 1 月は子 (ね) の年の正月にあたるため、これにちなんで 1 月 4 日から 2 月 2 日の間、第 5 展示室において、「国宝 初音の調度」の特集展示を実施し、新年を賀す。第 6 展示室では、「国宝 源氏物語絵巻 (複製)」の展示およびビデオによる同絵巻の解説を行う。

② 特別展 (第 7～9 展示室)

ア. 特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」

4 月 14 日～6 月 2 日

中日新聞社・日本経済新聞社共催

徳川家康の遺品「駿府御分物」を含む家康所持の刀剣の他、歴代将軍から尾張徳川家に下賜された名刀の全てを紹介する。

イ. 夏季特別展「合戦図 ―もののふたちの勇姿を描く―」

7 月 27 日～9 月 8 日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・読売新聞社共催

中世合戦絵巻から江戸時代の合戦図屏風まで、歴史の中で幾度となく繰り返された戦を描いた合戦図の系譜をたどる。

ウ. 秋季特別展「殿さまとやきもの―尾張徳川家の名品―」

9 月 15 日～11 月 10 日

名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会・中日新聞社・日本経済新聞社共催

将軍家に次ぐ格式を誇った尾張徳川家当主の、公私さまざまな場面を飾ってきた陶磁器から選りすぐりの作品を紹介する。

エ. 特別展「良寛さん 人と書」

前期：11 月 16 日～12 月 15 日

後期：1 月 4 日～1 月 31 日

NHK 名古屋放送局・毎日新聞社共催

日本有数のコレクターが所蔵する良寛直筆の書画 100 点余りを展示し、良寛の人と書を紹介する。

オ. 特別展「尾張徳川家の雛まつり」

2 月 8 日～4 月 5 日

中日新聞社共催

御三家筆頭の格式と豪華さを具現する尾張徳川家の雛人形・雛道具を展示する。

③ 企画展 (名古屋市蓬左文庫展示室)

ア. 企画展「雅くみやび」を伝えるー宮廷と文化ー

4月14日～6月2日

ご即位を記念し、宮廷で育まれてきた文化の諸相を、書跡や絵画作品・調度品・染織品などを通して紹介する。

イ. 企画展「裂くきれ」の美

6月8日～7月21日

尾張徳川家の裂地コレクションから、茶人たちに重宝されてきた金襴や緞子・更紗といった様々な裂地を紹介する。

ウ. 企画展「奏でるー楽器と調べー」

前期：11月16日～12月15日

後期：1月4日～1月31日

尾張徳川家に伝わる楽器や音楽にまつわる作品から、日本の古典音楽の流れを紹介する。

エ. 企画展「いつだって KAWAIIくかわいい」大好き

2月8日～4月5日

雛祭りにちなみ、着せ替え人形や抱き人形、雛道具や動物・物語など、観る者の心を魅了する可愛い品々を紹介する。

④ 特別展示

従前通り以下の特別展示を行なう。

ア. 国宝 源氏物語絵巻

11月23日～12月1日、第5展示室

イ. 千利休 泪の茶杓

2月22日～3月3日、第2展示室

⑤ 特別観覧

従前通り10月～11月にかけて徳川茶会を実施する。

徳川茶会

10月13,14,19,20,26,27日及び11月3,4日(8日間)なお、可能となる場合は11月2日を加える。

⑥ 館外展示

以下の館外展示を予定している。

徳川美術館名品展 秋田県・秋田市立千秋美術館

7月20日～9月1日

(2) 修理・保存・収集

以下の各項目の修理・保存を予定している。収集作品については予定していない。

① 国庫補助金「国宝重要文化財等保存整備費補助金」(国庫補助事業)による修理

国宝 源氏物語絵巻横笛(絵)・竹河(一)・橋姫・宿木(二)

国宝 初音蒔絵調度 書棚(七宝繫)・書棚(龍膽七宝繫)・見台 二基・旅香具箱

② 住友財団「文化財維持・修復事業助成」による修理

国宝 初音蒔絵調度

③ 活動支援基金による修理

能装束のほつれ・瓢形釜修理

2. 調査・研究

以下(1)～(9)の各項目の調査・研究を予定している。

(1) 学芸部における調査・研究

① 館蔵品悉皆調査

共同

② 尾張徳川家御道具帳のデータベース化

共同

③ 尾張徳川家関係寺社蔵品調査	共同
④ 尾張徳川家に関連する政秀寺所蔵什宝の調査	共同
⑤ 古代・中世の料紙装飾の系譜	四辻 秀紀 (部長)
⑥ 歌絵・物語絵の研究	四辻 秀紀 (部長)
⑦ 徳川将軍家と尾張徳川家の研究	原 史彦 (部長代理)
⑧ 戦国合戦図の総合的研究 ※	原 史彦 (部長代理)
⑨ 大名家における絵師の絵画活動についての研究	吉川 美穂 (マネージャー)
⑩ 尾張における画家の活動について 一田中訥言を中心に	吉川 美穂 (マネージャー)
⑪ 武家女性の生活史の研究	吉川 美穂 (マネージャー)
⑫ 「阿蘭陀」の研究 (新規)	長久智子 (マネージャー)
⑬ 中近世「唐物」工芸品の研究 (新規)	長久智子 (マネージャー)
⑭ 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について	並木 昌史 (学芸員)
⑮ 渡来織物の調査研究	並木 昌史 (学芸員)
⑯ 近世狩野派の研究	薄田 大輔 (学芸員)
⑰ 戦国合戦図の総合的研究 ※	薄田 大輔 (学芸員)
⑱ 江戸初期絵画の研究	加藤 祥平 (学芸員)
⑲ 尾張徳川家茶頭の研究	加藤 祥平 (学芸員)
⑳ 愛知県における仏教絵画の研究	安藤 香織 (学芸員)
㉑ 高雄曼荼羅の復元と空海の造形観の研究 ※	安藤 香織 (学芸員)
㉒ 近世狩野派を中心とした図様継承と絵画制作システムに関する研究※	安藤 香織 (学芸員)

※⑧⑰は東京大学史料編纂所特定共同研究、㉑は奈良国立博物館共同科学研究、㉒は東京国立博物館共同科学研究として、文部科学省科学研究費の助成の下で実施する予定である。

(2) 徳川林政史研究所との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連史資料に関する基礎調査・研究
- ③ その他、展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 収蔵品データベースの構築

調書作成・入力、写真データ作成・入力、展示作品リスト・キャプション用データ整備・入力、リスト・キャプションの作成、既撮作品ポジフィルム (8×10) のデジタル化、作品の写真撮影、作品情報のデータベース化等

(4) 研究用図書類の整備

図書類の受入、整理および管理

(5) 研究成果の公開・公刊

① 定期研究発表会

- ア. 第 75 回 (6 月) 四辻 秀紀 (学芸部長)
- イ. 第 76 回 (2 月) 吉川 美穂 (学芸部マネージャー)

② 図録、研究紀要等

ア. 特別展図録の作成・頒布

夏季特別展「合戦図 一もののふたちの勇姿を描く一」※

秋季特別展「殿さまとやきもの」※

※名古屋市蓬左文庫との共催展実行委員会作成の共同図録の作成・頒布を予定している。

特別展「良寛の人と書」

イ. 簡易リーフレットの作成

企画展「裂の美」

ウ. 英文リーフレットの作成

年度を通じ展覧会毎に内容を紹介する英文リーフレットを作成・配布する。

エ. 金鯨叢書第 47 輯（「研究紀要」第 54 号）の編集・刊行

③ 美術館だより「葵」第 110 号～113 号の作成・配布

(6) 大名道具収蔵館研究会

香川県立博物館を幹事館とし、研究会を実施する。

### 3. 教育・普及

以下(1)～(20)の各項目の教育・普及事業を実施予定である。

(1) 記念講演会

企画展「雅を伝える－宮廷と文化－」

特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」

秋季特別展「殿さまとやきもの」

特別展「良寛さん その人と書」

特別展示「千利休 泪の茶杓」

(2) 展覧会関連シンポジウム

① 7月28日 凸版印刷・徳川美術館主催シンポジウム「大阪冬の陣図」（仮称）

② 8月24日 愛知県立大学の中根千絵教授の科研「基盤研究（B）（一般）「十七世紀尾張藩における<文化としての武>に関する諸藩対照研究」主催によるシンポジウム「中世から戦国の合戦図」をめぐって（仮）」

(3) 土曜講座

① 江戸時代の宮廷文化（4月27日）

並木 昌史（学芸員）

② 徳川将軍と尾張徳川家（5月18日）

原 史彦（部長代理）

③ 尾張徳川家と裂（6月8日）

加藤 祥平（学芸員）

④ 文化財を守るということ－徳川美術館の美術品疎開－（8月3日）

林 里絵（非常勤学芸員）

⑤ 戦国合戦図の製作背景（8月31日）

薄田 大輔（学芸員）

⑥ 尾張徳川家伝来の青磁－中近世「唐物」の視点から－（10月5日）

長久 智子（マネージャー）

⑦ 王朝物語の絵画化（11月30日）

四辻 秀紀（部長）

⑧ 尾張徳川家伝来の楽器（1月18日）

並木 昌史（学芸員）

⑨ ちいさい、かわいい 「ひみな」の文化史（2月15日）

吉川 美穂（マネージャー）

⑩ 蔵帳にみる尾張徳川家の道具管理－刀剣を中心に－（3月14日）

安藤 香織（学芸員）

(4) 秋期講座

「殿さまとやきもの」展に関連して、9月21・22日の2日間に4講座を予定している。

森達也氏（沖縄県立芸術大学大学院芸術文化学術研究科教授）、小林仁氏（大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理）、片山まび氏（東京藝術大学美術学部芸術学科教授）、長久智子（マネージャー）

(5) 徳川林政史研究所による古文書講座（土曜日午後開講）

6月15日・22日・29日・7月6日・13日・20日の合計6回、「文化・文政期の社会」をテーマに講座を連続して実施する。

(6) 徳川林政史研究所による江戸学講座（土曜日午後開講）

12月7日・1月11日・1月25日・2月8日の合計4回、「大奥再発見」をテーマに講座を実施する。

(7) 刀剣講座

4月14日・5月12日の2回、特別展「徳川将軍ゆかりの名刀」会期中に実施する。

(8) ギャラリー・トーク

各特別展・企画展において学芸員ほかによるギャラリー・トークを随時実施する。

(9) 特別展・企画展関連企画

年度を通じ展覧会にあわせて関連する知識・情報等をパネル展示するとともに、以下の関連イベント企

画を実施する。

- ① ゴールデンウィーク企画（4月28日～5月6日）  
武将と刀 記念撮影イベント、スタンプラリー
- ② 企画展「奏でる一楽器と調べ」（前期：11月6日～12月15日、後期1月4日～1月31日）開催期間中に和楽器を用いた邦楽コンサートを実施する。
- ③ 雛まつり企画（2月下旬～3月上旬）  
香袋づくり、雛満喫プランほかを実施する。

(10) 組香体験（個人向け）

年度内に3回実施する。

(11) 土曜子ども教室 小中学校の児童・生徒向け教育普及活動

毎月テーマを決めて教室を開催する（土曜日は、小中学校の児童・生徒は観覧料無料）。

(12) 夏休み子ども特別企画（8月1日～31日）

ギャラリー・クイズ、歴史教室、自由研究ほかを実施する。

(13) 名刀スタンプラリー

年度を通じ随時実施する。

(14) 中高大の生徒・学生の職場体験受け入れ（インターンシップ）

年度を通じ随時実施する。

(15) 博物館実習受け入れ（11月19日～11月23日）

(16) 古美術相談会

原則として毎月第1土曜日の午後実施する。

(17) 名曲講座

展覧会にあわせたレクチャー・コンサートを年間1回程度実施する。

(18) 見学会

年間2回実施する。

(19) 出向・受嘱

① 出向

学芸部より、以下の各大学等への出講を予定している。

愛知県立大学・愛知県立芸術大学・愛知淑徳大学・岐阜大学・金城学院大学・椋山女学園大学・中京大学・中日文化センター・同朋大学・名古屋芸術大学・南山大学

② 受嘱

学芸部において、以下の外部職務の受嘱を予定している。

愛知県史編さん委員会特別調査執筆員（近世史部会）、京都国立博物館買取協議会委員、東京大学史料編纂所特定共同研究員、（公財）芭蕉翁顕彰会参与、文化庁平成30年度「博物館の管理運営に関する研修」企画運営会議委員、J.フロントリテイリング史料館、その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣する。

(20) 協賛事業

① 第98回名古屋市文化史教室（事業提携）

② 夏休み子ども教室を名古屋市と共催

③ チャン・ビン二胡演奏団 桜・二胡音楽会 4月3日

④ 「文化のみち 雛巡りスタンプラリー」

名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」

⑤ 愛知県内の博物館・資料館などをめぐる「ひなまつりスタンプラリー」

4. 賛助会・友の会・大学メンバーシップ制度

会員制の下、以下(1)～(3)の各項目の優待を実施し、(4)を検討する。

- (1) 賛助会会員向け優待
  - ① 年間の無料入館
  - ② 企画展・特別展内覧会の実施  
各特別展・企画展の開催日前日に賛助会員向け内覧会を開催（図録作成時は無料配布）
  - ③ 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布
  - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
  - ⑤ 特別鑑賞会および懇親会開催
  - ⑥ 見学会（国内の史跡・他館特別展等）への会員優待
  - ⑦ 茶会特別観覧料金、ショップ商品等の割引
- (2) 友の会会員向け優待
  - ① 一般会員向け観覧料優待制度
  - ② 美術館だより「葵」および各種印刷物の配布（一般会員・情報会員向け）
  - ③ 一般会員向けのショップ一部商品の割引
  - ④ 他館との連携による会員向け相互観覧料割引
- (3) 大学メンバーシップ制度会員向け優待
  - ① 対象大学法人の学生（一部教職員を含む）の観覧料優待
  - ② 対象大学法人への展覧会ポスター・チラシ、イベント案内等の配布・掲示
- (4) 各会員制度の一層の拡充に向けた検討  
各カテゴリーの会員制度について、会員数の拡充のための方策を多様な観点から更に検討する。



[ 公益事業 2 ] 研究所の調査・研究・普及事業（徳川林政史研究所）

1. 調査・研究

(1) 研究所における研究

- |  |                     |
|--|---------------------|
| ① 近世材木商の研究                             | 竹内 誠（所長）            |
| ② 名古屋城の構造と儀礼に関する研究                     | 深井 雅海（副所長）          |
| ③ 尾張藩幕末維新史の研究                          | 藤田 英昭（研究員）          |
| ④ 近世弘前藩の山林支配に関する研究                     | 萱場 真仁（非常勤研究員）       |
| ⑤ 近代山村史の研究                             | 加藤 衛弘（特任研究員・筑波大学教授） |
| ⑥ 尾張藩における美濃国山林支配に関する研究                 | 田原 昇（非常勤研究員）        |
| ⑦ 近世木曾山地方における林業開発と<br>在郷村営農の変遷に関する史的研究 | 大崎 晃（特任研究員）         |
| ⑧ 尾張藩祖徳川義直の研究                          | 川島 孝一（非常勤研究員）       |

(2) 徳川美術館との連携における研究

- ① 尾張徳川家歴代藩主に関する史料調査・研究
- ② 尾張徳川家関連資料に関する基礎調査・研究
- ③ その他展示・教育普及事業への協力および研究交流の促進

(3) 研究成果の公開・公刊

- ① 課題研究に関する中間報告を兼ねた研究会の開催
- ② 『金鯪叢書』第47輯（『研究紀要』第54号）の編集・刊行
- ③ 所蔵史料の編集・刊行（『源敬様御代御記録 第四』）
- ④ 史料調査の成果公開（ブックレットの刊行）

(4) 「尾張徳川史」編纂準備（尾張徳川家編年データベースの整備、史料翻刻）

(5) 尾張徳川家関連資料の調査・研究

(6) 史料調査

- ① 林政史アーカイブズ調査  
ア. 岐阜県中津川市加子母地域  
イ. 弘前市立弘前図書館
- ② 研究資料（複写・写真撮影資料を含む）の調査・収集  
ア. 犬山城白帝文庫（愛知県犬山市）  
イ. 国立公文書館（東京都千代田区）  
ウ. 文京ふるさと歴史館（東京都文京区）  
エ. 国文学研究資料館（東京都立川市）
- ③ 収集史料データの整理および公開のための基礎作業

(7) 調査・研究における他機関との連携・協力

- ① 名古屋市蓬左文庫
- ② 犬山城白帝文庫
- ③ 国立公文書館・国文学研究資料館等の資料保存機関
- ④ 徳川記念財団
- ⑤ その他学会・協会

2. 史料・図書の整理

(1) 所蔵史料の整理

- ① 尾張徳川家文書の整理・目録の作成
- ② 石河家文書の整理・目録の作成

- ③ 犬山成瀬家用人中野熊助関係文書の整理・目録の作成
- ④ 尾張藩奥医師野間林庵関係文書の整理・目録の作成
- ⑤ 尾張藩大御番組森家文書の整理・目録の作成
- ⑥ 旧蓬左文庫所蔵絵図の整理・目録作成
- ⑦ 徳川林政史研究所収集史料の整理・目録の作成
- ⑧ 旧名古屋税務監督局所蔵史料の整理・目録の作成
- ⑨ 王滝村松原家文書の整理・目録の作成
- ⑩ 尾張国各郡史料の目録の作成
- ⑪ 三河国各郡史料の目録の作成
- ⑫ 美濃国各郡史料の目録の作成
- (2) 所蔵史料の目録刊行（『金鯪叢書』第47輯〔『研究紀要』第54号〕に掲載）
  - ① 尾張徳川家文書目録(16)
  - ② 石河家文書目録(13)
  - ③ 犬山成瀬家用人中野熊助関係文書目録
- (3) 所蔵史料データベースの構築および保存
  - ① 尾張徳川家文書のデータベース化
  - ② 石河家文書のデータベース化
  - ③ 王滝村松原家文書のデータベース化
  - ④ その他整理済み文書のデータベース化
  - ⑤ 目録データベースの検索・活用方法ならびに公開体制（ホームページを含む）のあり方の検討
- (4) 史料のデジタルデータ化
  - ① 所蔵古写真のデジタルデータ化
  - ② 所蔵史料のデジタルデータ化
  - ③ 調査収集史料写真のデジタルデータ化
- (5) 史料の購入・補修（活動支援基金）
- (6) 書庫内の整理ほか保存環境の保全
- (7) 研究用図書の整理

### 3. 教育・普及

- (1) 講座・講演
  - ① 東京開催の「徳川林政史研究所公開講座」
  - ② 徳川美術館「徳川林政史研究所 古文書入門講座」
  - ③ 徳川美術館「徳川林政史研究所 江戸学講座」
  - ④ 史料調査と関連付けた講座・講演
  - ⑤ 上廣倫理財団助成事業関連の講座・講演
- (2) ホームページによる情報発信
  - ① ホームページを活用した尾張藩政史・幕政史・林政史の研究成果の普及
  - ② ホームページを利用した情報発信の促進
- (3) 出講・受嘱
  - ① 出講  
明海大学、学習院女子大学
  - ② 受嘱  
東京大学史料編纂所共同研究員、その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時研究員を派遣

### 4. 若手研究者の育成

- (1) 非常勤研究員・研究生による研究会の開催
- (2) 非常勤研究員・研究生による史料整理・目録作成作業（信濃国木曾史料など）
- (3) 非常勤研究員・研究生の徳川美術館・名古屋市蓬左文庫での見学研修の実施
- (4) その他、史料調査・研究・普及活動などへの参加

5. 閲覧・出陳・レファレンス業務

- (1) 史料閲覧  
閲覧許可日：毎週火曜日・水曜日
- (2) 史料出陳
- (3) 所蔵史料写真の貸し出しおよび複写サービス
- (4) レファレンスへの対応

6. 補助金関係

- (1) 科学研究費助成事業（特定奨励費）
- (2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業
- (3) その他、競争的研究資金および民間助成金等

7. 事業評価委員会

3月に開催予定

## Ⅱ.収益目的事業

### [ 収益事業 1 ] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

#### 1. 不動産賃貸事業

外国人向け住宅の賃貸（全6棟）

### [ 収益事業 2 ] ミュージアムショップ、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

以下1.及び2の各項目を実施する。

#### 1. ミュージアムショップの運営

##### (1) 設備およびシステムの改善

- ① 什器の拡充
- ② 消費税軽減税率制度実施に備えた販売管理体制の準備
- ③ 機能的な販売集計、在庫管理、発注システムの検討
- ④ 外国人対応のための小型翻訳機の導入

##### (2) 販売戦略および商品開発

- ① 新規取引業者の開拓
- ② 館蔵品をモチーフとしたオリジナル商品開発
- ③ オンラインショップのリニューアル

##### (3) より効率的・効果的な運営方法（外部委託を含む）の検討

##### (4) コンシェルジュ及び臨時雇員の外部研修実施（接遇等）・資格取得奨励、制服（冬服）整備

#### 2. 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

- (1) パンフレット・ちらしへの利用案内掲載
- (2) 入館券とのセットプランの導入
- (3) イベントとのセット販売
- (4) メニューの見直しおよび接客サービスの向上

### Ⅲ.管理業務

#### [ 本部・総務部 ]

徳川美術館、徳川林政史研究所をはじめ、法人の円滑な事業推進のため、各拠点の事業部門、管理部門の担当業務を支援し、掌理・統括する。

#### [ 徳川美術館 ]

以下 1.～11.の各項目を実施する。

##### 1. 活動支援基金

(1) 活動支援基金に係る管理事務

[ 公益事業 1 ] 美術館の運営事業（徳川美術館）1.(2)に記載

(2) 寄附受け入れ拡充のための各種方策の検討

##### 2. 補助金

(1) 国庫補助金に係る交付申請および管理事務

(2) 民間補助金に係る交付申請および管理事務

##### 3. 観覧料金

前売りペアチケットの導入

(1) 適用対象展覧会

夏季特別展「合戦図 ーもののふたちの雄姿を描くー」

秋季特別展「殿さまとやきもの ー尾張徳川家の名品ー」

特別展「尾張徳川家の雛まつり」

(2) 価格

2,300 円（税込、販売期間限定）

##### 4. ゴールデンウィーク・お盆期間中の夜間開館及び休館日の臨時開館

以下の連休中の休館日を臨時開館日として、観覧の需要に対応する（翌日も休館しない）。

(1) 4月30日（火）

(2) 8月13日（火）

(3) 徳川園と連携した夜間開館及びイベント等の実施

##### 5. 広報

(1) 展覧会内容に即しつつ、訴求対象を重点化した一層効果的な広報の実施を図る。とりわけ、ポスター・ちらしの一層効果的な配布、ホームページ・SNSなどのウェブ上での効果的な情報発信の拡充を図る。

(2) HPのアクセス解析の実施及び解析結果に伴う改善

##### 6. 営業

(1) 団体利用促進のための活動

① 旅行会社（教育旅行を含む）、観光協会等との連携

② 県内外教育機関等への来館誘致活動

③ 徳川園（庭園）とも連携した夜間開館および休館日貸し切り開館による利用誘致

④ 茶室・講堂等の施設の有料貸し出しについて団体利用の促進を図る。

- (2) 個人来館者利用促進のための活動
  - ① 県内外の観光施設及び宿泊施設との連携
  - ② 百貨店「友の会」との連携
  - ③ ホームページ・SNS 等による広報の充実
  - ④ 集客を目的とした館内イベントの実施
  - ⑤ 外部プロモーション活動と連携した誘客及び広報活動
  - ⑥ 愛知県及び名古屋市のイベントと連携した誘客及び広報活動
7. ボランティアの会運営
  - (1) 展示解説の標準化（マニュアルの改訂と解説・画像ソフトの開発）
  - (2) 能力（スキル）向上のためのボランティアの会研修会および見学会の実施
  - (3) 11 期生の募集および研修
8. 徳川美術館運営懇話会（第 28 回）

9 月 25 日開催予定
9. 徳川園各施設との連携
  - (1) 月度連絡会議
  - (2) 徳川園調整会議（1 月下旬）
  - (3) 徳川園各施設を紹介する団体客誘致のための営業用ツールを作成する。
  - (4) 徳川園各施設と連携しつつ、名古屋市の歴史文化基本構想を活かした観光推進事業に参加、協力する。
10. 他の美術館・博物館との連携
  - (1) 大名道具収蔵館研究会への参加
  - (2) 私立美術館会議への参加
  - (3) 日本博物館協会・全国美術館会議・愛知県博物館協会の事業への参加
11. 施設・設備の営繕と保守点検

中長期計画に基づき、以下の施設・設備の修繕および更新を実施する。

  - (1) 館内整備

本館照明および共用部照明の LED 化、空調用温水電磁流量計取替、空調チラー1 号機電装部分取替、本館外壁等補修工事、券売レジの変更及び変更に伴う環境整備、お客様向け Wi-Fi サービスの再整備等を実施し、館内設備の継続保全を図る。
  - (2) 庭園整備

敷地内と周辺民家に隣接する樹木を適切に管理する。  
中庭連絡通路仮設屋根の耐久化を進める。
  - (3) 茶室整備

茶室と周辺庭園を引き続き整備し、山の茶屋の水屋を修繕する。

[ 徳川林政史研究所 ]

1. 補助金
  - (1) 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特定奨励費）に係る交付申請および管理事務
  - (2) 特定奨励費以外の科学研究費助成事業に係る交付申請および管理事務
  - (3) その他、競争的研究資金および民間助成金等への交付応募および管理事務

2. 活動支援基金

(1) 活動支援基金に係る管理事務

〔公益事業2〕研究所の調査研究普及事業（徳川林政史研究所）2.(5)に記載

3. 設備管理

(1) 本部建物および設備等の修理補修等